

**令和元年度
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書**

(平成30年度事業)

令和元年10月

向日市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況	2
III	事業評価シート（平成30年度事業）	7
	（事務事業番号）	
1	学力の向上と個性を伸ばす教育の推進	8
2	豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進	13
3	健やかな身体の育成と体力の向上	16
4	家庭・地域社会との連携による特色ある 学校づくり	19
5	教職員の資質能力の向上	21
6	安心・安全な教育環境の充実	23
7	生涯学習環境の充実	27
8	家庭・地域社会の教育力の向上	35
9	子育てを支援する保育環境づくり	38
10	スポーツの振興	40
11	多様性を認め合う社会の実現	42
12	歴史・文化資源の整備と活用	44

I はじめに

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされております。

また、点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてされております。

このため、本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆様への説明責任を果たすため、事務事業の実績について取りまとめ、成果や課題について検証しました。

また、学識経験者である市教育委員会外部評価委員の方のご協力を得て、様々な意見・助言等をいただきましたので、その結果を報告します。

2 点検・評価の対象及び方法

教育基本法第17条第2項に基づく「本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」と位置づけている「ふるさと向日市創生計画」で定める重点施策や取組事業を踏まえ、主要な12施策46事業を外部評価対象事業とし、委員の方から施策ごとに様々な意見・助言等をいただきました。

(1) 点検・評価委員

氏名	役職等
前坂 あや子	元高知県教育委員会事務局就職アドバイザー
松宮 功	大阪国際大学短期大学部教授

(2) 点検・評価会議開催状況

第1回点検・評価会議（令和元年7月19日開催）

第2回点検・評価会議（令和元年8月7日開催）

第3回点検・評価会議（令和元年8月21日開催）

II 教育委員会の活動状況（平成30年度）

1 教育委員会構成員

役職	氏名	就任日	任期満了日
教育長	永野 憲男	平成27年7月1日	令和3年6月30日
教育長 職務代理者	白幡 節子	平成17年12月10日	令和3年12月9日
委員	松本 克彦	平成20年10月1日	令和2年9月30日
委員	流石 智子	平成27年10月1日	令和元年9月30日
委員	中野 緑	平成30年10月1日	令和4年9月30日

（1）教育長の異動

平成30年6月30日で永野教育長が任期満了となり、7月1日付けで再任された。

（2）委員の異動

平成30年9月30日で前田教育長職務代理者が任期満了となり、白幡委員が10月1日付けで教育長職務代理者に指名された。

平成30年10月1日付けで中野委員が任命された。

2 教育委員会の開催状況 14回

回	開催日	時間	付議案件等
平成30年 第6回	4月24日(火)	午後2時00分～ 3時00分	(議案第7号) 向日市社会教育委員の委嘱について (報告事項) ・平成30年度主な取組事業について 学校教育課(指導係)新規・拡充事業について 指定事業について 古代衣裳制作・展示・着用体験事業及び特別展について 地区公民館施設環境整備事業について 旧上田家住宅の活用について ・向日市中学校給食調理等業務委託公募型プロポーザルの結果について
第7回	5月21日(月)	午前10時00分～ 11時00分	(議案第8号) 向日市議会平成30年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について (報告事項) ・中学校給食調理等業務委託業者の選定結果について ・学校訪問について ・小学校外国語活動について ・年間入館者数について(図書館・文化資料館・文化財調査事務所・天文館)
第8回	6月25日(月)	午前10時00分～ 10時20分	(議案第9号) 向日市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について (議案第10号) 人事に関することについて
第9回	7月2日(月)	午前10時30分～ 12時30分	(報告事項) ・向日市議会平成30年第2回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について ・向日市いじめ防止基本方針の改定について ・向日市部活動指導方針(案)について ・平成30年度留守家庭児童会夏季入会申込児童数について ・中央公民館「子どもふれあい講座」について ・天文館開館25周年記念事業について

回	開催日	時 間	付議案件等
第10回	8月20日(月)	午前10時00分～ 11時38分	(議案第11号) 向日市いじめ防止基本方針について (議案第12号) 向日市議会平成30年第3回定例会の議決を 経るべき案件に対する意見について ・向日市学校給食センター設置条例の制定につ いて ・平成30年度一般会計補正予算案について ・平成29年度一般会計歳入歳出決算案につ いて (報告事項) ・向日市部活動指導方針について ・中学校総合体育大会結果について ・向日市小学生夏休み作品展について ・向日市中学生美術展及び中学生書道展につ いて ・向日市中学生弁論大会について
第11回	8月28日(火)	午前10時00分～ 10時47分	(議案第13号) 平成31年度に使用する小中学校教科用図書 の採択について (議案第14号) 平成31年度に使用する学校教育法附則第9 条に規定される教科用図書の採択について
第12回	9月25日(火)	午後4時00分～ 5時20分	(議案第15号) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点 検及び評価に関する報告書について (報告事項) ・臨時代理について ・向日市議会平成30年第3回定例会一般質問 答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑につ いて ・中学校給食実施に伴う保護者説明会の実施結 果について
第13回	10月1日(月)	午前9時15分～ 9時30分	教育長職務代理者の指名について
第14回	11月19日(月)	午前9時30分～ 10時28分	(議案第16号) 向日市学校給食センター設置条例施行規則の 制定について (議案第17号) 向日市議会平成30年第4回定例会の議決を 経るべき案件に対する意見について (議案第18号) 人事に関することについて (報告事項) ・中学校給食開始スケジュールについて ・平成30年度向日市管内における文化財の新 指定等について ・史跡長岡宮跡復元体感具 ふわふわ!朝堂in について

回	開催日	時 間	付議案件等
第15回	12月25日(火)	午前10時00分～ 11時06分	(報告事項) <ul style="list-style-type: none"> 向日市議会平成30年第4回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について 平成31年度通学区域の弾力化制度について 平成30年度乙訓ふるさとふれあい駅伝大会結果について 第17回小中学生読書感想文コンクールについて
平成31年 第1回	1月22日(火)	午後2時00分～ 2時13分	(報告事項) <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度向日市の教育(指導の重点)の改定について
第2回	2月8日(金)	午前10時00分～ 11時30分	(議案第1号) 向日市議会平成31年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について (報告事項) <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度向日市の教育について 平成30年度第2回いじめ調査の概要について 平成30年度公民館学習発表会について
第3回	2月28日(木)	午前9時00分～ 9時50分	(議案第2号) 平成31年度向日市の教育について (議案第3号) 人事案件について
第4回	3月26日(火)	午前10時00分～ 11時43分	(議案第4号) 向日市社会教育委員の委嘱について (議案第5号) 人事に関することについて (報告事項) <ul style="list-style-type: none"> 向日市議会平成31年第1回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について 「児童虐待防止対策の抜本的強化について」等を踏まえた対応について

3 教育委員会委員の主な活動

(1) 教育委員会関係行事への参加（教育長のみが出席したものを除く）

- ・小中学校入学式・卒業式
- ・小中学校訪問
- ・小中学校体育大会
- ・中学生弁論大会
- ・小学生夏休み作品展
- ・中学生美術展・書道展
- ・小学校陸上運動交歓記録会
- ・小中学校公開授業、研究発表会
- ・中学生英語スピーチ大会
- ・乙訓地方小学生駅伝大会
- ・向日市学校給食センター竣工式
- ・成人式
- ・史跡長岡宮跡大極殿回廊地区保全整備事業竣工記念式典
- ・京都府立向陽高等学校卒業式
- ・京都府立向日が丘支援学校入学式・卒業式
- ・京都西山高等学校入学式・卒業式 ほか

(2) 研修・協議会等

- ・乙訓教育委員会連合会教育委員研修会
- ・乙訓教育委員会連合会定期総会
- ・京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
- ・京都府内市町（組合）教育委員会研修会
- ・乙訓地区小中学校使用教科用図書採択協議会

Ⅲ 事業評価シート（平成30年度事業）

施策番号	1
施策名	学力の向上と個性を伸ばす教育の推進

<p>施策の目指す姿</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をはじめ、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む意欲・態度を統合した「質の高い学力」を育成するため、指導方法・指導体制を工夫・改善し、個に応じた指導の充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 学習指導の充実 ② 特別支援教育の充実 ③ キャリア教育の充実 ④ 現代的課題に対する関心を高め、理解を深める教育の充実 ⑤ 校種間連携の強化</p>

事業名	研究指定	施策の方向性	①
事業概要 実績	○京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」・向日市教育委員会指定 第2向陽小学校 「数学的な見方・考え方を養う」 ～児童の「問い」が連続するみんなで学び合う学習サイクルを構築しながら～ (授業研究・学習環境の整備等)	研究発表	11月9日 約100人参加
	第6向陽小学校 「ユニバーサルデザインの視点に立った教育」～6向小スタンダードの形成～ (授業研究・学習環境の整備等)	公開授業	1月25日 約65人参加
	○京都府乙訓教育局指定「OASIS校」・向日市教育委員会指定 第3向陽小学校 「わかる!」「できる!」「つながる!」必然性のある学びの創造 ～「言語活動を重視した授業改善」・「基礎・基本の定着」・「学習に向かう力、人間性の涵養」～ (授業研究・学習環境の整備等)	公開授業	1月31日 約70人参加
	第4向陽小学校 「ICT機器を生かした指導の工夫とパフォーマンス評価の実践」 ～外国語活動の充実と学力向上～ (授業研究・学習環境の整備等)	公開授業	11月26日 約70人参加
	第5向陽小学校 「主体的に深く学ぶ児童の育成」～文学的文章を読むことを通して～		

	<p>(授業研究・学習環境の整備等)</p> <p>公開授業 10月30日 約100人参加</p> <p>西ノ岡中学校</p> <p>「より質の高い『深い学び』の追求～各教科の特質に応じた『見方・考え方』を取り入れた授業～」</p> <p>(授業研究・学習環境の整備等)</p> <p>公開授業 2月 1日 約50人参加</p>
担当課	学校教育課

事業名	学力テストの実施	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○各種学力テストを実施し、児童生徒の学習の定着状況を把握するとともに結果分析から指導改善につなげた。</p> <p>(向日市) 標準化された学力テスト (CRT)</p> <p>国語、算数・数学、理科、社会、英語</p> <p>小学校4年生～中学校3年生</p> <p>(京都府) 学力診断テスト 小学校4年生、中学校1年生、2年生</p> <p>(文科省) 全国学力・学習状況調査 小学校6年生、中学校3年生</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	特別支援教育の充実	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○向日市教育支援委員会において、小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童生徒について、障がい等に配慮した適切な就学について協議し、相談及び指導を行った。</p> <p>相談件数 88件 (就学前35件、小学校39件、中学校14件)</p> <p>○各校の状況に応じ、特別支援教育支援員を配置し、教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対する支援を行った。</p> <p>全小中学校に配置 小学校15人、中学校9人</p> <p>○特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。</p> <p>給付内訳 (給付対象人数：小学校60人、中学校16人)</p> <p>学用品等購入費 (小学校60人、中学校16人)</p> <p>給食費 (小学校58人、中学校15人)</p> <p>校外活動費 (宿泊あり・宿泊なし) (小学校8人・60人、中学校0人・16人)</p> <p>修学旅行費 (小学校6人、中学校1人)</p> <p>体育実技用具費・柔道 (中学校4人)</p> <p>新入学児童生徒学用品費等 (小学校11人、中学校7人)</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	職場体験	施策の方向性	③
事業概要 実績	<p>○望ましい職業観や勤労観等を身につけさせるため、市の「総合的な学習」補助金や府教育委員会補助事業「KYO 仕事・文化体験活動推進事業」等を活用し、介護や農作業等の体験活動や地域社会における職場体験を実施した。</p> <p>小学校：農作物の栽培、保育所や幼稚園での幼児との交流、介護体験 等 中学校：市内の事業所等における2年生の職場体験 97事業所</p> <p>勝山中学校 4日間（11月） 西ノ岡中学校 4日間（10月～11月） 寺戸中学校 4日間（10月～11月）</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	現代的課題への関心	施策の方向性	④
事業概要 実績	<p>○生命のがん教育推進プロジェクト事業（京都府健康福祉部） 第5向陽小学校 平成31年3月14日 6年生（80人）</p> <p>・がんに関する知識を医師とがん経験者から直接学び、生活習慣の大切さについて学ぶとともに、健康と命の大切さについて考えることができた。</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	校種間連携の充実	施策の方向性	⑤
事業概要 実績	<p>○各中学校校区（勝山中、西ノ岡中、寺戸中）において、学力向上を目的とした取組や児童生徒間の交流を実態に応じて実施した。</p> <p>・児童生徒</p> <p>部活動体験 向陽小6年（93人）、5向小6年（80人） 見学 3向小6年（73人）、4向小6年（102人） 西ノ岡中陸上部が指導 2向小6年（80人）、6向小6年（64人） （小学生陸上交歓記録会に向けての練習） 中学校の授業体験 2向小6年（80人）、6向小6年（64人） 中学校の体育祭見学 向陽小6年（93人）、5向小6年（94人） （体育祭予行を見学）4向小6年（102人）</p> <p>・教職員</p> <p>合同研修会（学力分析、生徒指導など） 勝山ブロック（8月、約100人） 西ノ岡ブロック（8月、約80人） 合同授業研究会（公開授業の参観、事後研究など） 勝山ブロック （向陽小へ約110人、5向小へ約100人、勝山中へ約100人） 西ノ岡ブロック （2向小へ約50人、6向小へ約60人、西ノ岡中へ約40人） 寺戸ブロック （3向小へ約60人、4向小へ約60人、寺戸中へ約10人）</p>		

	<p>○幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続が図られるように、教職員の交流や幼児と小学生の交流等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児児童の交流行事 <ul style="list-style-type: none"> 小学校1年と年長との遊び（全小学校） 小学校での発表や授業体験（4向小1年と年長、5向小1年と年長） 小学校での給食体験（2向小1年と年長、6向小1年と年長） 小学校の体育大会へ年長を招待（向陽小、6向小） 児童が保育園や幼稚園を訪問（3向小5年、2向小5年） ・ 教職員（全小学校） <ul style="list-style-type: none"> 保幼小交流会（授業参観、担当者による懇談） 合同研修会に参加（京都府乙訓教育局主催事業） 幼児教育、保育の一日体験（初任者教員対象）
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>○学力の向上と個性を伸ばす教育の推進に向け、各学校が、児童生徒の実態や状況に合わせて設定した研究テーマをもとに研究し、成果を研究発表会や公開授業で発信するとともに、市内小中学校教員の相互参加を積極的に勧めることで、成果の波及につながった。</p> <p>○教育支援委員会では学校や保育所、幼稚園、療育等関係機関、新たにできた小規模保育園等もふくめ保護者と連携して、児童生徒一人一人に応じた教育的支援の在り方について相談できた。また、各学校では、特別支援教育支援員による児童生徒支援の充実が図られた。</p> <p>○各学校の特色を生かした体験活動や職場体験など発達段階に応じたキャリア教育を進めることで、勤労することの喜びや大変さなどに気付かせるとともに、将来の夢や希望につなげ、規範意識や社会性を身に付けさせることができた。</p> <p>○校種間の接続をスムーズにするため、各小中学校においては、児童生徒が異校種で授業や部活動等を体験するとともに、小中学校教員が一堂に会して合同研修会を実施した。各小学校と保育所・幼稚園等においては、年間を通じて連携することにより、異校種間での教育や保育の特徴、育てたい姿について理解を深めることができた。</p>	
<p>【課題】</p> <p>○児童生徒一人一人に応じた教育的支援を充実させるため、近年、新たにできた小規模保育園等を対象に、療育等関係機関と協力して、移行支援ファイルの活用等、これまで積み上げてきた有効な支援方法の活用を拡充する必要がある。</p> <p>○様々な体験活動や中学校の職場体験では、体験をすることが目的にならないよう、各学校においては、体験活動前後の学習を計画的に進め、児童生徒に望ましい職業観や勤労観を育成することを意識して指導する必要がある。</p>	

○校種間連携では、学力向上に向け、小学校で新しく始まる外国語科と中学校外国語科の指導と評価の共有、また、不登校・不登校傾向の児童生徒への対応に向け、一人一人に応じた具体的な手立てを講じるための情報共有が喫緊の課題である。

外部評価委員評価及び意見等

○研究指定では、第2向陽小学校において、教員の発問が、児童の思考を促し、児童同士が自然に話し合い課題解決に向う仕掛けとなっており、新しい学習指導要領の目指す一つ一つの知識がつながり「分かった」「おもしろい」と思える授業として、評価できる。他の学校への波及を図ってほしい。

○研究指定のテーマ設定では、各学校において、教職員がより意欲的に研究に取り組むことができるように、主体的にテーマ設定をしており、その際、教育委員会と学校とが情報を共有し、京都府教育委員会の指定する研究内容などを活用するなど、良く連携できていると評価できる。

○学力テストの実施については、学力向上を目的として、学力の定着状況を検証するため、標準化されたCRTなどを活用し、外部の基準と各学校や市全体を比較することで客観的に見ることが重要である。

○特別支援教育支援員の配置により、教員が支援員を通じて多くの子どもを支援するケースを知り、具体的な手立てなどを学んでおり、教員の指導力向上にもつながるため、さらに配置を進めてほしい。

○校種間連携の充実については、小学生の中学校授業体験を設定することで、中学校教員が小学生にも分かりやすい授業を意識し、教員の授業力向上につながるため評価できる。また、小中学校が連携を進める中で工夫された計画であり、意欲的な取組で大変評価できる。

○保幼小連携については、幼稚園教育要領や学習指導要領の改訂でも、子どもの学びを中心とした指導の接続が重視されており、小学校においても、特別支援教育や生徒指導など、今後ますます円滑な接続を図れるよう、様々な視点での工夫を進めてほしい。

施策番号	2
施策名	豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進

<p>施策の目指す姿</p> <p>学習指導要領に規定された公共の精神、伝統や文化の尊重などを踏まえ、伝統や文化に関する教育や道徳教育、体験活動を充実させるとともに、家庭、地域社会と一体となって、人間として、また社会の一員として主体的に生きるための基本となる資質や能力である豊かな人間性や社会性の育成を図る。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 道徳教育の充実</p> <p>② 人権教育の推進</p> <p>③ 生徒指導の充実</p> <p>④ 芸術・文化活動の充実</p>

事業名	道徳の時間実践交流	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○授業改善に生かすため、研究授業の参観・研究協議・講義等を通して、児童生徒の心に響き、道徳的価値の自覚を促す指導方法などについて研修を実施した。</p> <p>参加者数 15人（各小中学校から教務主任・道徳教育推進教師等）</p> <p>日時 平成31年2月7日（木）午後2時30分～午後5時</p> <p>研究授業 第5向陽小学校 第4学年</p> <p>教材名 「三つのつつみ」</p> <p>指導する内容項目 思いやり・親切</p> <p>講義 「『特別の教科 道徳』における授業づくり ～『考え、議論する道徳』への質的変換～」</p> <p>講師 京都府総合教育センター 研究主事兼指導主事</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	人権教育	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○あらゆる人権問題に対し、豊かな人権感覚を持ち、幸せな社会生活を営めるよう、人権意識の高揚につながる取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育の授業時数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校18.1時間（小1～小6における各学年の年間授業時間の平均） 中学校20.7時間（中1～中3における各学年の年間授業時間の平均） 参観、公開授業 <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校で実施 各学年1回 教職員研修 <ul style="list-style-type: none"> 向日市教職員研修 2講座（同和問題、LGBT） 各小中学校で実施 14講座（小学校9講座、中学校5講座） 		
担当課	学校教育課		

事業名	教育相談等	施策の方向性	③
事業概要 実績	<p>○適応指導教室の設置</p> <p>市内の不登校の児童生徒を対象に教育相談に応じたり、集団への適応力を培うための指導を行ったり、児童生徒の主体性を育成し、早期に学校へ復帰できるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。</p> <p>指導員5人（9月から6人、10月から7人）</p> <p>125日開設（水・木・金）、登録通室児童生徒16人（小学校8人、中学校8人）、平均で常時5人程度通室していた。</p> <p>○教育相談事業の充実</p> <p>来所による相談、電話による相談、学校への巡回相談、家庭訪問による相談を実施した。中でも学校への巡回相談はニーズが高く、巡回相談は、臨床心理士3人、作業療法士1人の計4人で担当した。</p> <p>（各相談件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所教育相談件数（市役所、天文館等）延べ326件 ・電話教育相談件数 延べ26件 ・学校への巡回教育相談（9校） 延べ209件 ・家庭訪問による教育相談 延べ65件 <p>○心の相談サポーター事業</p> <p>不登校の未然防止や早期解決を図るため、登校できるが教室には入りにくい不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、生徒の悩み、不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境の提供を行った。</p> <p>臨床心理学を学ぶ大学院生 14人（12月から15人）</p> <p>配置校 小学校3校、中学校2校（各校週2日～4日）</p> <p>対応件数 延べ1,274件</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	子ども未来づくり支援事業（体験活動）	施策の方向性	④
事業概要 実績	<p>○児童生徒の体験活動</p> <p>各学校が、それぞれの学校の実態や地域の特色を踏まえ、伝統や文化についての児童生徒の体験的な学習や、知的好奇心を育む学習などを実施した。</p> <p>（目的別体験活動件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上（教科や領域など） 21件（小学校14件、中学校7件） ・体験活動（農業、栽培など） 9件（小学校7件、中学校2件） ・伝統文化（落語、狂言など） 14件（小学校13件、中学校1件） ・健康安全（食、安全など） 9件（小学校6件、中学校3件） <p>※シリーズとして複数回実施している場合も、1件としている</p>		
担当課	学校教育課		

施策の成果と課題

【成果】

○「特別の教科 道徳」実践交流では、めあてを明確にした授業を参観し、研究協議を行うことで、教材研究や児童生徒の実態把握の大切さについて、認識を深めることができた。また、講師を招聘し、道徳の教科化の背景や授業づくりについて理解を深めることができた。

○全小中学校で、人権学習を実施し、人権尊重の意識の高揚を図るとともに、参観授業により保護者に授業公開や懇談会をすることで啓発もできた。また、市教委や各小中学校で同和問題についての教職員研修を行い、同和問題学習を進めるための教員の資質向上を図った。

○適応指導教室においては、通室生が増加傾向であったため、臨床心理士を養成する大学と交渉を重ね、人材を確保し、複数の指導員体制を確保することで、通室する児童生徒へ個に応じた丁寧な支援を実施することができた。

【課題】

○中学校における「特別の教科 道徳」の実施を含め、教科化の背景や指導・評価について今後も研修を深め、適切な評価を行うとともに、児童生徒や保護者への説明に努める必要がある。

○各学校においては、児童生徒一人一人のアセスメントにもとづいた支援を進めるため、外部との連携を図りながら組織的に対応していく必要がある。特に小学校における不登校児童が増加しているため、下学年での出席状況等詳細な情報を校内で共有するとともに進学先中学校にも丁寧に引き継ぐ必要がある。また、教育委員会においても、適応指導教室等の支援体制を整備の上、各学校と連携を密にし、さらに児童生徒を支援する必要がある。

○心の相談サポーター等として臨床心理を学ぶ大学院生を配置しているが、所属している大学の都合もあり、人材確保の課題がある。

外部評価委員評価及び意見等

○心の相談サポーター事業において、臨床心理士の資格に限定すると人材確保が困難であるが、有効な人材であるため、今後も臨床心理学を学ぶ大学院生の確保に努めてもらいたい。

○不登校については、一度不登校になった児童生徒を見守っていく必要があるため、課題に記載のとおり、小学校高学年や中学生であっても、小学校低学年における出席状況等の詳細な情報の校内共有と、進学先中学校への引き継ぎが必要である。

○子ども未来づくり支援事業において、各学校が児童生徒の実態に応じて、体験させたい活動を考え、教育委員会がその支援をする姿勢は大変評価できる。各学校の主体的な取組がさらに進むよう、指導支援に努めてもらいたい。

施策番号	3
施策名	健やかな身体の育成と体力の向上

<p>施策の目指す姿</p> <p>明るく生きがいのある生活を営むために、生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむことができる能力や態度を育てるとともに、現代的な健康課題への理解を深め、健やかな身体の育成を図る。</p> <p>施策の方向性</p> <p>① 体力・運動能力の向上 ② 健やかな身体の育成 ③ 食育の推進</p>

事業名	新体力テストの実施	施策の方向性	①					
事業概要 実績	<p>○各校では新体力テストを5月に実施した。 （実施種目）握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ（計8種目） 【8種目のうち、全国平均を下回る学年の多い種目を継続観測】</p>							
	平成30年度 新体力テスト 結果	握力 (Kg)		20mシャトルラン (回)				
	項目	年度	向日市	京都府	全国	向日市	京都府	全国
	小6 男子	30年度	20.56	19.04	20.02	65.06	66.70	64.48
		29年度	17.70	18.77		63.83	66.24	
	小6 女子	30年度	19.33	18.85	19.58	52.00	53.25	50.94
		29年度	18.48	18.68		46.83	52.18	
	中3 男子	30年度	32.53	34.42	34.90	116.53	100.54	96.64
		29年度	34.47	34.71		99.33	97.42	
	中3 女子	30年度	23.73	25.60	25.59	64.33	66.25	61.19
29年度		24.27	25.05	64.00		62.70		
※全国平均値＝前年度平均値（未発表のため）								
担当課	学校教育課							

事業名	健康に関する授業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○全小中学校で薬物乱用防止教室を実施した。</p> <p>向陽小 5・6年（10月）、2向小 6年生（12月） 3向小 6年生（12月）、4向小 6年生（6月） 5向小 4・6年生（6月・7月）、6向小 6年生（7月） 勝山中 3年生（7月）、西ノ岡中 全学年（7月） 寺戸中 3年生（10月）</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	食育・学校給食運営	施策の方向性	③						
事業概要 実績	<p>○小学校では、農作物栽培をし、給食等で活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物例 1・2年生（さつまいも、ミニトマト、オクラ） 3・4年生（小松菜、なす、へちま、ゴーヤ） 5・6年生（かぼちゃ、米、じゃがいも） 委員会活動等（大根） ・給食等の活用例 大根、さつまいも <p>○小学校給食実施児童数 3,046人（H30.5.1現在） 米飯給食週4回実施。 配膳台、食器洗浄機、スチームコンベクションオーブン等、給食備品の更新により、給食室衛生管理の徹底を図った。 給食室害虫駆除、栄養教諭等保菌検査、食材検査、専門家による研修等を実施し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○中学校給食実施生徒数 1,450人（H31.1.1現在） 米飯給食週5回実施。</p> <p>○食物アレルギーを有する児童生徒へ医学的根拠に基づいた適切な対応ができた。</p> <p>食物アレルギー</p> <p>小学校236人（有症率7.7%） （そのうち、除去食対応については、96人） 中学校138人（有症率9.3%） （そのうち、除去食対応については、29人）</p> <p>○成長期にある中学生に栄養バランスのとれた安全・安心な昼食を提供するため、3学期から全ての中学校で給食を開始した。</p> <p>(1)プレ給食の実施</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>1月15日(火)</td> <td>西ノ岡中学校</td> </tr> <tr> <td>1月16日(水)</td> <td>勝山中学校</td> </tr> <tr> <td>1月17日(木)</td> <td>寺戸中学校</td> </tr> </table> <p>(2)給食の実施 1月21日(月)～3月14日(木)</p>			1月15日(火)	西ノ岡中学校	1月16日(水)	勝山中学校	1月17日(木)	寺戸中学校
1月15日(火)	西ノ岡中学校								
1月16日(水)	勝山中学校								
1月17日(木)	寺戸中学校								
担当課	学校教育課								

施策の成果と課題

【成果】

○全小中学校で、薬物乱用防止教室に関わる授業を実施することができた。また、非行防止教室等も含め、発達段階に応じた薬物に対する正しい知識と対処について理解を深めることができた。

○全小学校で、栽培活動と食育を関連させて学習指導を実施できた。
また、安心・安全で魅力ある給食を提供することができた。

○施設の改善や備品の更新などを行い、給食室の衛生環境の維持向上を図ることができた。

○平成30年11月に給食センターを完成させるとともに、3学期から全ての中学校で完全給食を実施することができた。

【課題】

○握力は、小・中学校ともに全国平均を下回っていることが多く、小学校では、低学年からの鉄棒や遊具を使用した遊びを積極的に取り入れるなどの工夫を続け、中学校では、体育授業のはじめに基礎体力作りを取り入れたり、授業の中で握力を高める動作を取り入れたりするなど、体力向上に向けての取組を引き続き行う必要がある。

○夏季休業前に薬物乱用防止教室を実施し、薬物に対する正しい知識の習得と非行防止に向けた取組を実施する必要がある。

○給食を活用し、食育を通じて日々の残食を減らしていくとともに、望ましい生活習慣を身につけるよう指導を行っていく必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○体力テストにおいて、昨年度と比べて、小学校6年生と中学校3年生のシャトルランは全国平均を上回っており、評価できる。

○食育において、中学校給食実施に伴い、学校に給食委員会等の給食に関わる担当が設けられていることは大事である。また、日々の給食を活用して食について考えていく取組は大変評価できる。

○食育と併せて食材の産地を学習することで、社会の地理の学習を充実することができる。

施策番号	4
施策名	家庭・地域社会との連携による特色ある学校づくり

<p>施策の目指す姿</p> <p>保護者や地域社会との連携を促進し、家庭・地域社会と一体となった教育活動の充実を図り、特色ある学校づくりを推進する。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 開かれた学校づくりの推進</p> <p>② 学校改善に生かす学校評価の充実</p>

事業名	ふるさと学習	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○小学校では生活科や社会科と関連させ、総合的な学習の時間に取り入れた。</p> <p>1年生・2年生：「向日市にふれる」町探検（校区の公園や図書館等の見学）を通じた学習</p> <p>3年生・4年生：「向日市を知る」特産物（なす、たけのこ）や校区内の特色（お寺・踊り等）についての学習、簡単な歴史についての学習</p> <p>5年生・6年生：「向日市を学ぶ」インタビューやオリエンテーリング等の体験活動を通して、農作物や歴史・文化等についての学習</p> <p>※特徴的な取り組み</p> <p>2向小6年：「向日市の未来を考えよう」において、調べ学習でお世話になった市役所職員や地元農家等を招待し、環境、観光、防災等の観点から各グループが考えた「未来の都市計画」の提案、感想や意見交流もある双方向の発表会を行った。</p> <p>○中学校では、総合的な学習の時間の中で学習した。</p> <p>勝山中 1年生：「福祉、歴史、災害、公園、自然、安全」の中から選択して調査・研究した内容をまとめ、向日市の未来についての考えをまとめた。</p> <p>西ノ岡中 1年生：「向日市の特色」についての調査・研究や竹細工等向日市の特産品についての体験活動を通して、向日市の未来についての考えをまとめた。</p> <p>2年生：「向日市の特色」についての調査・研究を通して、「ふるさと新聞」を作成した。</p> <p>寺戸中 2年生：「向日市の歴史や現状」について調査・研究し、向日市活性化プロジェクト案を新聞に表現するなど、向日市の未来についての考えをまとめた。</p> <p>○ふるさと学習成果展</p> <p>児童生徒が地域ならではの特色に関心を高め、ふるさとへの愛着を育むとともに、授業で取り組んだ学習成果（壁新聞、模造紙まとめ、古代衣裳、古墳模型等）を校外に展示し、本市の特色ある教育活動を広く市民に知ってもらい、本市への関心を高める機会としている。</p>		

	日 時 平成30年12月22日～平成31年1月17日 場 所 文化資料館 ラウンジ 参加校 第3向陽小学校、第5向陽小学校、勝山中学校、西ノ岡中学校
担当課	学校教育課

事業名	学校評価	施策の方向性	②
事業概要 実 績	<p>○自己評価 各学校は、評価計画を作成し、前年度の取組を踏まえ、教育活動が改善できるように創意工夫をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、学年、学級、校内分掌担当での評価を実施（年2～3回） ・児童生徒、保護者、学校評議員からアンケート調査を実施（年1～3回） ・評価と調査を基に教育活動を捉え直し、改善策を明確化 ・業務改善の視点を取り入れ実施（6校／9校） <p>○自己評価の公表 各学校は、研究内容や授業づくりの視点等、自己評価の結果を受けた教育活動の改善の方向性について学校だよりで周知した。</p>		
担当課	学校教育課		

施策の成果と課題
<p>【成果】 ○全小中学校で「ふるさと学習」が定着し、地域の特色に合わせてフィールドワークや体験活動、資料を活用し探求する活動、学習成果発表会等を実施することにより、児童生徒は、ふるさと向日市について興味関心を高めることができた。また、ふるさと学習成果展の実施により、本市の特色ある教育活動を広く市民に知ってもらい、本市への関心を高める機会となった。</p> <p>【課題】 ○新たにふるさとの魅力を発見するため、さらに地域との連携を図る必要がある。</p> <p>○京都府教育委員会「教職員の働き方改革実行計画」の評価指標を学校評価と連動させ、業務改善の点検・評価を全校で実施する。</p>

外部評価委員評価及び意見等
○ふるさと学習では、第2向陽小学校の6年生の取組のように、主権者教育の主旨に沿うものであり、大変評価できる。市職員や住民が児童生徒から市政に関する意見やアイデアを聞く取組は、主権者としての市民の育成に繋がるものであり、向日市の定住に寄与するものと考えられる。

施策番号	5
施策名	教職員の資質能力の向上

<p>施策の目指す姿</p> <p>京都府教育委員会「教師力向上のための指針」を踏まえ、教職員一人一人が、研修等により自己の資質能力の向上を図るとともに、培った実践力を教育活動に積極的に生かし、組織としての学校の教育力を高め、計画的・継続的な教育実践に取り組む。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 教職員研修の充実</p> <p>② 教職員評価の実施</p>

事業名	子ども未来づくり支援事業（教職員研修）	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○教育委員会主催の教職員研修を実施するとともに、各学校において、喫緊の教育課題や学校のニーズに沿った教職員研修及び先進校視察研修を実施した。</p> <p>①教育委員会主催教職員研修</p> <p>年間2日間で6講座実施（延べ429人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月11日（金）午後3時～午後5時 <ul style="list-style-type: none"> 「人権教育」部落差別解消法の施行を踏まえた指導（70人） 「プログラミング教育」学習の基盤となる情報活用能力（64人） 「道徳教育」道徳性を育むための多様な指導方法（84人） ・平成30年8月22日（水）午後2時30分～午後4時30分 <ul style="list-style-type: none"> 「外国語・外国語活動」新学習指導要領に向けた授業実践（50人） 「人権教育」LGBTの理解と効果的な指導（83人） 「授業力向上」主体的・対話的で深い学びを通じた授業づくり（78人） <p>②各学校の主な研修</p> <p>小学校32件、中学校9件（年間通じて複数回実施を含む延べ件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業づくり（国語科、算数科、図画工作科、外国語活動など） （授業改善、授業のユニバーサルデザイン、アクティブラーニング等） ・人権教育（同和教育）及び道徳教育 ・児童生徒への支援（児童生徒理解・特別支援教育 等） <p>③若手教員研修（おおむね採用後2～5年目の教員）</p> <p>退職教員による、指導力向上のための研修（6校 15人 112時間）</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観、授業、学級経営についてのアドバイス ・教材づくり <p>④先進校視察研修</p> <p>各校のニーズに応じて実施（小学校16回35人、中学校6回9人）</p> <p>【主な研修校、視察テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学附属小学校 研究発表、研究授業、ユニバーサルデザイン授業 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県長良西小学校 校内研究の進め方、授業研究 ・横浜国立大学附属横浜中学校 研究発表、授業研究
担当課	学校教育課

施策の成果と課題

【成果】

○教育委員会においては、現代的課題と参加者のニーズに合わせた課題について教職員研修を実施し、資質能力の向上を図るとともに、各学校においては、特別支援教育や教育相談等、事例にもとづいた具体的な研修を実施することで、教員の実践力を高めることができた。

○退職教員を派遣し、若手教員のニーズに合わせた研修を実施することにより、授業づくりや学級経営について児童生徒への指導に生かすことができた。

○先進校視察では、同一校から複数の教員が参加し、経年で同じ学校へ視察に行くことで、校内で指導方法等を伝達する人や機会が増え、視察内容を学校で共有し実践に生かせるようになっている。

【課題】

○目まぐるしく変化し複雑多様化する時代に生きる児童生徒に「生きる力」を身に付けさせるため、教員の果たす役割は大きく、特に、増加する若手教員の指導力をさらに向上させる必要がある。引き続き、喫緊の課題である新学習指導要領への対応や人権学習などの研修を通じて、教員の資質能力の向上に努める必要がある。

○各学校では、教職員構成や児童生徒の実態に応じた教員の実践的指導力を高めるとともに、人材育成を目的とした校内研修を今後も充実させる必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○子ども未来づくり支援事業では、各学校の研修において、年間を通じ、同じ講師を複数回招き指導を受けることで、研修内容が教員に定着し、指導力の向上に効果が上がっている。各学校の状況を踏まえ、さらに積極的に研修を推進してもらいたい。

○若手教員研修において、指導する退職教員は、基本的な教育理念や指導技術を指導するとともに、児童理解について、若手教員自身に考えさせ、任せたいことで、指導することが大切である。

○子ども未来づくり支援事業については、学校の研究指定と関連付けたり、つなげていくことで、児童生徒の学力向上や教員の資質向上の相乗効果が期待できるので、継続的に取り組んでもらいたい。

施策番号	6
施策名	安心・安全な教育環境の充実

<p>施策の目指す姿</p> <p>児童生徒が安心して通え、楽しく過ごすことができる居場所としての学校づくりに取り組むとともに、あらゆる危機に対応する力をはぐくむ安全教育の充実を図る。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 学校における安心・安全の確保</p>

事業名	安心・安全教育	施策の方向性	①	
事業概要 実績	○いじめ調査の概要			
	いじめ調査の認知・解消件数（延べ件数）			
	年度	平成29年度		平成30年度
	項目	認知	解消	認知 解消
	小学校	1,578	1,354	1,452 1,310
	中学校	120	101	182 162
	合計	1,698	1,455	1,634 1,472
	○不登校数《年間30日以上欠席》（平成29年度）			
	・小学校 1.38% (0.91%)			
	・中学校 4.33% (3.70%)			
○交通安全教室の実施				
<p>小学校 「歩行練習」1年：向陽小、3向小、4向小、5向小、6向小</p> <p>「自転車教室」2年：向陽小、3向小、5向小、6向小</p> <p>「自転車運転免許教室」4年：向陽小、2向小、3向小、4向小、5向小、6向小</p> <p>5年：6向小</p> <p>中学校 「交通安全教室（自転車）」1年：勝山中、西ノ岡中、寺戸中</p>				
担当課	学校教育課			

事業名	登下校時安全対策	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>①通学路安全推進会議の開催（年2回） 向日市通学路交通安全プログラムに基づき、通学の安全対策について協議を行った。 構成団体：京都府乙訓土木事務所・京都府向日町警察署 向日市（防災安全課・学校教育課・道路整備課）</p> <p>②交通指導員の配置 小学校の通学路における交差点や踏切等、登校時30箇所、下校時14箇所の危険箇所に交通指導員を配置し、通学路の安全確保を図った。 また、老朽化した交通安全啓発用反射電柱幕の交換や新たな設置を行い、通学路の交通安全について啓発を行った。</p> <p>③防犯ブザーの配布 小中学校の新1年生全員に防犯ブザーを配布した。 （小学生507個、中学生540個）</p> <p>④通学路緊急合同点検の実施 文科省から示された『登下校防犯プラン』に基づき、児童生徒の登下校時において、防犯の観点から危険な箇所を抽出し、平成31年1月に関係機関と連携して緊急合同点検を実施した。 参加：京都府向日町警察署・向日市立各小学校・向日市（学校教育課・生涯学習課・防災安全課・公園交通課・道路整備課）</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	学校施設の整備	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○児童生徒が快適な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、校舎内のトイレ改修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修内容 床面乾式床、洋式大便器、自動洗浄機能付小便器、自動水洗式手洗い器、人感センサー式LED照明機器 ・平成30年度トイレ改修箇所 向陽小学校、第2向陽小学校、第3向陽小学校、第5向陽小学校、第6向陽小学校、勝山中学校、西ノ岡中学校、寺戸中学校（各1箇所） <p>○市内3中学校の給食を実施するため、向日市学校給食センター及び各校配膳室整備に係る工事を実施した。 向日市学校給食センター（西ノ岡中学校敷地内）、3中学校配膳室</p> <p>○平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震及び9月4日の台風第21号により、一部破損等の被害を受けた小中学校施設の修繕及び工事を実施した。</p>		
担当課	教育総務課		

施策の成果と課題

【成果（学校教育課）】

○いじめ調査を活用し、アンケート及び個別の聞き取りをもとに、一人一人の状況を定期的に把握し、相談や指導、支援につなげ、いじめの早期対応、防止につなげることができた。

○通学路安全推進会議において、学校から要望のあった通学路の危険箇所の情報を各機関と共有し、安全対策について検討を行った。

また、交通指導員を通行に際し注意が必要な箇所に配置し、児童が安心して通学できるよう対策を行った。

「学童多し注意」「危険 歩行者に注意」の電柱幕を設置することにより児童生徒だけでなく、通行する車両に対しても交通安全に対する啓発を行った。

さらに、新1年生に防犯ブザーを配布し、不審者から身を守るための防犯・安全意識の啓発を行うとともに、いざという時に正しく使用できるよう、学校だよりを通じ、定期的な電池交換と外出時の常時携行について周知を行った。

加えて、各関係機関との緊急合同点検の実施により、通学路上の危険箇所の情報共有を図り、今後の環境整備や改善につなげやすくするための連携を深めることができた。

【成果（教育総務課）】

○児童生徒が快適な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、校舎内のトイレ改修を実施した。

○3学期の中学校給食実施に向け当初の計画どおり、向日市学校給食センター及び各校配膳室の整備工事が完了し、栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供できる施設ができた。

○大阪府北部地震や台風第21号の影響により、剥離・損傷の被害を受けた小中学校施設については、早急に災害復旧工事を行い、児童生徒の安全が確保できた。

【課題（学校教育課）】

○いじめ防止等にむけ、児童生徒に係る事象にきめ細かく対応できるよう、向日市いじめ防止対策推進委員会委員等、専門的知識を有する者からの助言をもとに、学校に対して指導支援に努めるとともに、一部の教職員が情報を抱え込まず、組織的かつ速やかに対応できるよう、引き続き、学校に対していじめの早期発見・早期対応を意識させる必要がある。

○不登校の児童生徒が増加している中、各学校が一人一人の状況を正確に把握するとともに、組織的に情報を共有し、児童生徒の自立に向けた具体的な支援策を支援計画に表すなど明確にした上で、保護者や医療機関等、専門機関との連携を図り、指導・支援をいっそう進める必要がある。

○道路状況の変化等により通学路の危険箇所は常に変化するため、通学路安全推進会議の構成団体や学校・地域と連携して、定期的に要望や意見を取り入れつつ、交通指導員の配置時間や配置場所について、最適な見直しを行う必要がある。

また『登下校防犯プラン』に基づき、防犯上危険な箇所にも留意し、警察を含む各関係機関と連携しながら、防犯対策を講じていく必要がある。

【課題（教育総務課）】

○向日市公共施設等総合管理計画に基づき、学校別に個別計画を定めていく必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○いじめの認知について、件数の増加を否定的に捉えるのではなく、いじめの兆候を見逃さなかったと理解し、その後の指導や支援に活かすとよい。

○交通安全教室の自転車教室は、児童生徒に自転車が車両であることを認識させ、自分自身も加害者になりうることを考えさせる機会であり、非常に大切である。

○通行に際し注意が必要な箇所に交通指導員を増員し、配置したことにより、児童の安全が確保できたことは大変評価できる。

○大阪府北部地震や台風第21号の被害を受けた小中学校施設について、早急に災害復旧工事を行ったことは、大変評価できる。

施策番号	7
施策名	生涯学習環境の充実

<p>施策の目指す姿</p> <p>市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供及び学習の成果を活かす場や機会の充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 生涯学習の振興</p> <p>② 社会教育施設における学習機会の充実</p>

事業名	生涯学習情報紙の発行	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○市などが開催する生涯学習関連事業の情報を市民に提供するため、生涯学習情報紙を発行した。</p> <p>生涯学習情報紙：年2回(前期・後期)</p> <p>前期460部、後期500部発行(市内公共施設等に配布)</p> <p>子ども向け夏休み情報紙：年1回(夏休み前)、各小中学校に配布</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」への支援	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○生涯学習の推進に取り組むボランティアサークル「まなぼうや」の活動に対して、講座の受付や広報等で支援を行った。</p> <p>開催講座数：6講座 参加者：70人</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	中央公民館生涯学習講座	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>全12講座、参加者372人</p> <p>①ふしぎ発見！理科教室 (3講座 参加者56人)</p> <p>小学4～6年生を対象に、理科好きの子どもを育成するために毎回実験を行い、理科の不思議について学んだ。</p> <p>②夏休み子ども体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本電産(株)本社・中央開発技術研究所見学会 (参加者29人) <p>同社の沿革展示・長岡京遺跡展示の説明や15階フロアから向日市内を一望するとともに京都市側と大阪側の景色を観察。企業創業、現在開発中の製品や主力製品である様々なモーターの話聞いた。</p> <p>③夏休み子ども体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR見学 (参加者122人) <p>市内事業所であるJR西日本吹田総合車両所京都支所(旧向日町操車場)の見学。特急に乗車し操車場内や仕業点検・洗浄などを見学し、安全・快適に運行されていることを学んだ。踏切事故防止についても学んだ。</p>		

	<p>④子どもふれあい講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将棋が強くなる！」教室（参加者35人） 簡単な戦法を理解し、詰将棋を解いた。礼儀や対局のマナーを身に付けるとともに対局を通して将棋の楽しさを学んだ。 <p>⑤教養講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府の活断層と南海トラフ地震について（参加者33人） いつ起こるか分からない巨大地震の解説や日頃の備えについて再確認した。 ・子育てママ&パパのためのミニマネー講座（参加者4人） 子育て中の市民を対象に、人生3大資金（住宅資金、教育資金、老後資金）を中心にライフプランの基礎知識を身に付けた。 ・シニアのためのスマートフォン講座（参加者30人） 中高年を対象にスマートフォンの機能を学び、実際に使い生活に役立つことを知り、その便利さを体験した。 <p>⑥健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯から考えよう！私の全身健康！（参加者15人） 虫歯菌と認知機能との関係など口腔と全身健康について学んだ。 <p>⑦国際理解講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当は怖いグリム童話～国際理解講座とシルエットキャンドルグラス作り体験～（参加者12人） グリム童話のオリジナルを聞き、その歴史や文化について学び、素敵なキャンドルグラスを作った。 <p>⑧文化講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語の楽しみ方講座（参加者36人） 伝統文化である落語について、扇子と手拭いだけでの表現法や話し方のポイントを聞き、落語への理解を深めた。 <p>⑨学習発表会（舞台発表）（発表者7団体、来場者170人） 公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表。寺戸公民館にて開催した。</p> <p>⑩市民文化展（出展数89点、来場者758人） 市民の創作による作品を展示・発表。イオンモール京都桂川イオンホールにて開催した。</p>
担当課	中央公民館

事業名	地区公民館生涯学習講座	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>全9講座、参加者167人</p> <p>①寺戸公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道体験教室（参加者9人） 茶の湯の作法や楽しさを味わいながら、伝統文化を体験した。 ・楽しく学ぶ干支剪画教室（参加者17人） 剪画の技法を学び、来年の干支である「亥」の色紙を作成した。 ・寄せ植えを楽しもう（参加者30人） 		

	<p>クリスマスから新春を飾る寄せ植えを作った。</p> <p>②物集女公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーガ体験教室 (参加者 11 人) <p>運動が苦手な方や体が硬い方も自分のペースで楽しめるヨーガを体験した。</p> <p>③森本公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の学び方 (参加者 23 人) <p>外国人観光客に道案内ができるようになりたい方や子どもの英語学習を支援できるようになりたい方を対象に英語の学び方について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森本遺跡ってなんでしょ (参加者 16 人) <p>森本遺跡と森本遺跡の時代・生活について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが気になる痔について (参加者 18 人) <p>専門の先生から予防や治療などの話を聞いた。</p> <p>④鶏冠井公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お正月の寄せ植え (参加者 25 人) <p>葉牡丹を中心に華やかな寄せ植えを作った。</p> <p>⑤上植野公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金箔手工芸 (参加者 17 人) <p>新春に向けて干支の色紙を作成した。</p> <p>⑥学習発表会 (展示・掲示発表) 出展数 716 点</p> <p>公民館クラブ・サークルの 1 年間の学習成果発表。各公民館にて開催した。</p>
担当課	中央公民館

事業名	図書館読書推進事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>①資料の収集と貸出</p> <p>蔵書数 18万5千点</p> <p>貸出 32万3千点、貸出者数 8万8千人</p> <p>②レファレンス・サービス</p> <p>受付件数 77件</p> <p>③予約サービスによる資料提供、他館との相互貸借、障がい者サービス</p> <p>予約処理件数 22,022件</p> <p>相互協力 貸出619件、借用1,482件</p> <p>障がい者サービス 自宅配本 39回 229点</p> <p>④読書の普及推進と読書環境の向上を図るための各種読書推進活動</p> <p>おはなし会プラスコンサート (3回実施) 参加者 151人</p> <p>おはなしひろば (8回実施) 参加者 322人</p> <p>文学講座 (2回実施) 受講者 104人</p> <p>小中学生読書感想文コンクール 応募者 182人</p> <p>図書館リサイクル・デー 参加者 103人</p> <p>(838冊を譲渡)</p> <p>大人の朗読会 (4回実施) 参加者 57人</p> <p>むこうビブリオバトル 参加者 33人</p>		

	自習室の開設	利用者	43人
	全国訪問おはなし隊キャラバンカー	参加者	76人
	⑤図書館ボランティアの育成及び支援		
	ステップアップ講座	受講者	10人
	ボランティア養成講座	受講者	34人
	⑥他機関との協力		
	地域で支える認知症～認知症ってなあに？	参加者	26人
担当課	図書館		

事業名	文化資料館運営事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>①古代の都“長岡京”をテーマとした常設展示の運営</p> <p>②特別展「向日神社」 期間中入館者 2,199人</p> <p>③テーマ展示 ※（ ）内は期間中入館者数</p> <p>「くらしのなかの戦争展」（2,567人）</p> <p>「夏休み子ども歴史教室作品展」（688人）</p> <p>「くらしの道具展」（3,232人）</p> <p>④文化活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別企画「ゴールデンウィークに資料館内を電車が走る！part8」 来場者 1,097人（定員なし） ・日曜談話会 (1)「日本画家・六人部暉峰について」 参加者45人（定員なし） (2)「中世西岡の古文書を読む」 参加者 18人（定員なし） ・歴史ウォーク 「江戸時代の”神輿道”を歩く」 参加者 32人（定員なし） ・歴史講座 (1)「地形図と地形模型が語る乙訓の近代史-大地を平面に描き、平面を立体化して探る地域のすがた-」 参加者 89人（定員80人） (2)「牛車で向かおう！！-平安時代の乙訓地域-」 参加者 59人（定員80人） ・夏休み子ども歴史教室 (1)「紙漉き体験で向日庵を知る」 参加者 20人（定員20人） (2)「かぶとを作って西岡衆を学ぶ」 参加者 23人（定員25人） ・夏休み体験イベント「長岡京の都人に変身！」 参加者 33人 ・特別展記念講演会 (1)「向日神社本『日本書紀』とその世界」 参加者 106人（定員80人） (2)「向日神社と六人部是香」 参加者 80人（定員80人） <p>⑤むこうし歴史行列絵巻事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)古代衣裳ワークショップ 参加者 24人 (2)大極殿衣裳行列 参加者・関係者 22人 従事ボランティア10人 		
担当課	文化資料館		

事業名	天文館運営事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p><事業概要></p> <p>○プラネタリウム新番組の導入、講演会や講座の開催など、天文への興味・関心を高める事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 244日、投影日数196日、投影回数620回 ・プラネタリウム一般投影 観覧者数 5,277人（特別投影を含む） ・プラネタリウム団体投影 観覧者数 2,959人（83団体） ・観覧者の内訳 大人3,682人、小中学生1,635人、幼児2,919人 計8,236人 ・団体の内訳 市内18団体595人、市外65団体2,364人 幼稚園22団体982人、保育所31団体935人、こども園等7団体256人、小学校9団体516人、その他14団体270人 <p>○定例天体観望会 参加者数 425人（12回開催）</p> <p>○特別天体観望会 参加者数 452人（5回開催） スターウォッチング in 朝堂院（6月） 夏休み親子観望会（8月）、昼の金星観望会（8月）、 お月見観望会（9月）、部分日食観望会（1月）</p> <p>○天文教室・講座 参加者数 458人（13回開催） 夏の天文教室（7月2回、8月3回） 冬の天文教室（1月2回、2月2回） 天文実験講座（7月1回） 天文学講座（9月、11月、12月 各1回）</p> <p>○特別企画事業 参加者数 294人（4回開催） 七夕コンサート（8月）、秋の特別投影（10月）、 クリスマスコンサート（12月） JAXA 宇宙科学研究所特別天文講演会（2月）</p> <p>○開館25周年記念事業 25周年記念番組「プラネタリアン」投影 観覧者数 967人 25周年記念「オリジナル缶バッジ」作成 配布数 600個</p> <p>○来館者総数12,177人（ロビーのみ入館者 2,312人）</p>		
担当課	天文館		

施策の成果と課題

【成果（生涯学習課）】

○生涯学習情報紙の発行や生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」への支援など、市民の自主的・自発的な学習活動を支援することができた。

【成果（中央公民館）】

○中央公民館では各種講座を開催し、市民に学習の場を提供することができた。子ども対象の事業では、地域の企業の協力を得て見学会を開催することができ好評であった。新たに将棋の講座を開催したところ、多くの参加があった。学年の差を感じさせない対局もあり、真剣な表情で取り組む姿勢を見ることができた。

また文化講座では表現法などのポイントを聞いた後に落語を聴き、今までとは違う楽しみ方ができたという声が多数あり、伝統芸能の理解を深め味わうことができた。

○市民文化展、公民館サークルの学習発表会では市民の創作による作品や学習内容などを発表する機会を提供するとともに、市民の文化活動の活性化を図ることができた。

○地区公民館では多種多様な講座を開催することにより、市民の自主的な学習支援や生涯学習の環境づくりに努めることができた。

【成果（図書館）】

○事業の開催時間や内容を工夫した結果、参加者が昨年度に比べ「おはなし会」は33%、「文学講座」は18%増加した。

○学校支援に努め、ニーズに応えた結果、貸出が昨年より32%増加の2,405冊となった。

○他機関と協力して「地域で支える認知症」や「全国おはなし隊」事業を実施した。当館だけではできない講演会やおはなし会などを開催し、新たな利用者の来館に結びついた。

○新規登録のボランティアグループと参加型事業「むこうビブリオバトル」を開催し、他市からの参加者もあるなど好評だった。

【成果（文化資料館）】

○「くらしの道具展」では、市内・近隣市町から小学校団体見学を多数受け入れ、ボランティアの会会員による農具の使い方の実演や解説を行い、昔の生活について学習してもらう機会を提供した。特別展では、向日神社の貴重な文化財（普段は非公開）を多数展示し、乙訓屈指の古社である向日神社の歴史と文化について紹介することができた。

○「ゴールデンウィークに資料館内を電車が走る！part 8」では、「広報むこう」の掲載や小学生へのちらし配布により、親子連れを中心に、3日間で1,097人と多くの来場者が

あった。特別展関連事業として開催した2回の講演会はいずれも好評を得た。復元古代衣裳を活用した「大極殿衣裳行列」では、向日市まつり当日のステージ発表と会場内の練り歩きを通じて、参加者とスタッフが一丸となって古代の都・長岡京について広く発信することができた。

【成果（天文館）】

○天文館での投影番組や投影回数を増やし、継続して活性化事業等を展開するとともに、講座や教室等の開催を通じて、子どもから大人まで楽しめる生涯学習の場として充実できた。

また、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の講師を招致するなど、多様な事業を通して多くの方に天文への興味と関心を深めてもらうことができた。

入館者については、前年度に引き続き10,000人を超えることができた。

【課題（生涯学習課）】

○生涯学習について、引き続き市民が自主的・自発的に学習活動に取り組めるよう、各課・関係機関が行っている講座の情報について、より見やすい誌面となるよう効果的にとりまとめる工夫が必要である。

【課題（中央公民館）】

○小学生対象の理科教室について、第1回（6月実施）は定員を超える申込みがあったが夏休み中の第2回・第3回は定員に満たない状況であった。他の部局が実施するイベント等と重なってしまうこともあり、学期中の土曜、日曜の開催を増やす必要がある。

○子育て世代を対象とした講座について、保育ルームを設けるなど準備をしたが参加者は少なかった。参加者からは非常に参考になったとの声を聞くことができた。多くの方が興味・関心が持てるような周知方法の工夫が必要である。

○多様な市民ニーズに対応し、誰もが参加することができる環境を整え、学習活動のきっかけとなる講座の開催に努める。

【課題（図書館）】

○より多くの方に利用してもらうために、多様なニーズを把握して、資料の購入と事業展開に反映させ、その情報を発信することが必要である。そのために職員の技能向上が必要である。

【課題（文化資料館）】

○展示事業について、今後も展示内容の充実と積極的な広報に努め、入館者数の一層の増加につなげる必要がある。

○文化活動事業について、展示事業と関連して開催する講演会は、多くの参加者にとって展示内容への理解と関心をより深める機会となっており、今後も魅力的なテーマ設定に努める必要がある。

夏休み子ども歴史教室など次世代向けの事業については、新しい試みとして取り入れた紙漉き及び和紙作品づくりの体験が好評であったが、内容が固定化しないよう、今後も工夫したい。

外部評価委員評価及び意見等

○生涯学習に関する講座について、参加人数に差があるが、その分析をし、今後の講座に活かしてほしい。

○中央公民館の「将棋が強くなる！」教室は、幅広い世代との交流という視点でも期待できるので、今後も続けてほしい。

○中央公民館と図書館の事業について、講座内容や開催時間の工夫により、多くの参加者が集り、大変評価できる。

○現在の子どもはスマートフォンを大いに利用しているため、図書館において、ネット情報と本で得た情報のメリットとデメリットを知る機会を作してほしい。

○文化資料館と天文館の事業について、イベントの開催と同時に展示会や投影会を行うことは、多くの参加者を集め、展示内容や天文への興味や関心を深める機会となっており、大変評価できる。

施策番号	8
施策名	家庭・地域社会の教育力の向上

<p>施策の目指す姿</p> <p>家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めるとともに、学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進する。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 家庭の教育力の向上</p> <p>② 地域社会の教育力の向上</p>

事業名	家庭教育講座	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○家庭及び地域の教育力の向上（基本的な生活習慣の重要性）について、市民への理解を呼びかけ、地域での取組みの促進を図ることを目的に開催した。</p> <p>「笑顔の子育て講座 ～この話を聞くとわが子のやる気が変わります！～」 参加者：35人</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	PTA との連携・支援	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○向日市 PTA 連絡協議会の活動に対する支援・助言</p> <p>○社会教育関係団体への補助金交付 交付団体：市立小中学校 PTA</p> <p>○向日市 PTA 連絡協議会、京都府との共催による人権研修会の実施</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	地域で支える学校教育推進事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○学校を核とした地域づくりを目的に、地域住民が自らの経験や知識を生かして学校の教育活動を支援する体制づくりを推進した。</p> <p>実施校：向陽小（H26～）、2向小（H24～）、3向小（H21～） 4向小（H29～）、5向小（H27～）、6向小（H28～） 勝山中（H27～）、西ノ岡中（H25～）</p> <p>実行委員：45人</p> <p>内 容：学習支援、環境整備、読書活動支援、部活動支援など</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	放課後児童サポート事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○子どもの安心・安全な居場所づくりを目的に、5時間目終了後から高学年の授業終了までの間、低学年を対象に自由遊び等を行った他、2向小では全学年を対象に放課後学習を実施した。</p> <p>実施場所：市内全小学校 実施回数：124回（年間延べ15,633人） 内 容：グラウンド・体育館での自由遊び、教室での自主学習など</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	ジュニア・リーダー養成講座	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○次世代のリーダーとして必要な知識、技術、コミュニケーション能力の習得を目的に、野外活動・講話・実習などの体験学習や集団学習を行った。</p> <p>参加者：16人（小学校5、6年生：14人 中学生：2人） 開講数：7回</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	青少年健全育成団体との連携・支援	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○青少年健全育成団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全見守りパトロール、あいさつ運動の実施 ・市民ふれあいコンサートの実施 ・環境浄化活動の実施（携帯電話取扱店舗の立入調査） <p>○青少年健全育成団体への補助金交付 交付団体数：4団体</p>		
担当課	生涯学習課		

施策の成果と課題			
<p>【成果】</p> <p>○家庭での子育てに関する講座を開催することで、家庭教育の担い手である保護者等に対して学習機会を提供することができた。</p> <p>○ PTA・青少年健全育成関係団体への活動に対する支援を行った。 また、各団体間の交流を深めることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○家庭の教育力の向上を図るため、子どもの家庭教育に関する学習機会の提供や、基本的な生活習慣の重要性や現代的課題などの理解促進に向けた取り組みを継続して推進することが必要である。</p> <p>○地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進するため、地域で支える学校教育推進事業における人材確保に努めるとともに、PTAや青少年健全育成関係団体の活動を継続して支援することが必要である。</p>			

外部評価委員評価及び意見等

○家庭教育講座について、講座に参加したくなるようなわかりやすいタイトルになっており、参加者が増えるよう工夫できている点が評価できる。また、今回のような評判の良い講座は続けるのがよい。

○地域で支える学校教育推進事業において、地域や学校、関係者の事情を考慮し、学校のニーズに応じた事業の充実を図ってほしい。

施策番号	9
施策名	子育てを支援する保育環境づくり

<p>施策の目指す姿</p> <p>子育て支援のための施設の計画的な整備を図るとともに、時間延長等多様な保育サービスの充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会運営事業）</p> <p>② 幼児教育の振興</p>

事業名	放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会運営事業）	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○放課後などに保護者等が仕事などで不在の小学生に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る。</p> <p>①各留守家庭児童会入会児童数 636人(5月1日現在)</p> <p>第1留守家庭児童会 126人(3クラブ)</p> <p>第2留守家庭児童会 129人(3クラブ)</p> <p>第3留守家庭児童会 77人(2クラブ)</p> <p>第4留守家庭児童会 124人(3クラブ)</p> <p>第5留守家庭児童会 117人(3クラブ)</p> <p>第6留守家庭児童会 63人(2クラブ)</p> <p>②指導員研修会の実施 計8回(参加者延べ196人)</p> <p>「不審者侵入の対応」について</p> <p>「地震発生時の避難方法」について</p> <p>「障がい児の福祉と育成支援」について</p> <p>「救命講習」</p> <p>「人権研修『エンパワメント -心の源の力の支援-』」</p> <p>「消防訓練(指導員対象及び児童・指導員対象の計2回)」</p> <p>「ワーキング研修『配慮を要する児童の育成支援について』」</p> <p>③施設環境整備</p> <p>必要に応じて各児童会の施設修繕を行った。</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	幼児教育の振興	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○向日市私立幼稚園就園奨励費補助金・向日市私立幼稚園児教材費補助金</p> <p>子どもの心身の健やかな成長を促す上で、極めて重要である幼児教育を行う幼稚園への就園を奨励し、園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付</p> <p>就園奨励費：所得制限あり</p> <p>交付：園児699人 総額93,740,850円</p> <p>教材費補助金：園児1人当たり42,000円</p> <p>交付：園児857人 総額35,994,000円</p>		

	<p>○向日市私立幼稚園設備費補助金 市内私立幼稚園の教育環境の整備に対する補助金交付 交付：市内3園 1園当たり210,000円</p> <p>○乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 乙訓私立幼稚園協会が実施した職員研修等に対して補助金を交付 交付：195,000円</p> <p>○向日市私立幼稚園特別支援教育振興補助金 市内3私立幼稚園特別支援教育に係る人件費に対し補助金を交付 交付：市内3園 総額 1,862,000円</p>
担当課	教育総務課

施策の成果と課題	
【成果（生涯学習課）】	○留守家庭児童会では、入会要件を満たす児童を全て受け入れたことで、保護者のニーズに応えることができた。
【成果（教育総務課）】	○トイレの改修を行ったことにより、全留守家庭児童会のトイレを男女別化及び洋式便器を整備することができた。
	○私立幼稚園に在園する園児の保護者のうち、多子世帯等の保護者負担軽減を拡充することにより、更に保護者の経済的負担を軽減することができた。 私立幼稚園の設備、備品の整備を促進するとともに教職員の研修会等を支援することにより、幼児教育の振興を図ることができた。 障がいのある幼児を受け入れる私立幼稚園を支援することにより、障がいのある幼児の就園促進及び教育振興を図ることができた。
【課題（生涯学習課）】	○児童が安心・安全に過ごすことができ、保護者も安心して就労することができるよう、各留守家庭児童会において引き続き指導員の確保及び環境整備に努める必要がある。
【課題（教育総務課）】	○令和元年10月からの幼児教育無償化に向け、市民に対して分かりやすい制度の説明や広報が必要である。また、入園を検討している方に対し、広く周知を図る必要がある。

外部評価委員評価及び意見等	
	○指導員研修会について、必要な内容の研修が実施されていると評価できる。引き続き適時適切に研修を実施し、指導員の育成に努めて欲しい。

施策番号	10
施策名	スポーツの振興

<p>施策の目指す姿</p> <p>市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① スポーツ活動の推進</p>

事業名	各種スポーツイベントの開催	施策の方向性	①
事業概要 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合体育大会 参加者：699人 ・スポーツ交流フェア（スポーツ文化協会60周年記念共催事業） 参加者：838人 ・スポーツランド 参加者：684人 ・東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー引継ぎ式 参加者：70人 		
担当課	生涯学習課		

事業名	市民体育館の管理運営	施策の方向性	①
事業概要 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成28年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。 体育室稼働率：90.1% トレーニング室利用者：24,647人 ・新体操用マット一式を新調した。 		
担当課	生涯学習課		

事業名	スポーツ指導者育成	施策の方向性	①
事業概要 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の育成 研修会の開催（毎月1回）、スポーツイベントへの派遣など ・スポーツ指導者研修会の開催（スポーツ文化協会60周年記念共催事業） 「オリンピックで得たもの」 近畿大学水上競技部監督 山本 貴司氏 参加者：280人 		
担当課	生涯学習課		

事業名	学校等体育施設開放事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>社会体育の振興を図るため、学校等体育施設の開放を行った。</p> <p>使用回数 ○小学校 体育館：2,172回 グラウンド：1,825回 ○中学校 体育館：848回 ○向日町競輪場スポーツ施設：958回</p>		
担当課	生涯学習課		

施策の成果と課題

【成果】

○向日市スポーツ文化協会60周年の年にあたり、同協会と共催したスポーツ交流フェアやスポーツ指導者研修会において、多数の参加者を得られた。また、東京オリンピック・パラリンピックフラッグツアー引継ぎ式を実施し、気運の醸成を図った。

○老朽化した市民体育館の新体操用マットを新調したことにより、安全面の確保ができ、また競技スポーツの向上にも寄与した。

【課題】

○自らの意欲や健康状態に応じて、誰もが気軽にスポーツに取り組めるよう、引き続き（公財）向日市スポーツ文化協会や関係機関・団体と連携して事業に取り組む必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○向日市スポーツ文化協会の60周年記念事業と共催したスポーツ交流フェアは昨年度より参加者が大幅に増加し、大変評価できる。他の事業との共催は多くの参加者を得るのに非常に効果的である。

施策番号	11
施策名	多様性を認め合う社会の実現

<p>施策の目指す姿</p> <p>市民が生涯のあらゆる場や機会を通じて、人権尊重の理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる自発的な学習活動の促進と、その啓発に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 人権教育の推進</p>

事業名	人権研修会	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>市民がそれぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、人権について学ぶ機会として開催する。</p> <p>第1回「防ごう！守ろう！子どものネットトラブル」 参加者：61人</p> <p>第2回「はじめてみよう！これからの部落問題学習 ～部落問題をどう語り、伝えるのか～」 参加者：39人</p> <p>第3回「エンパワメント～心の源の力の支援～」 参加者：36人</p>		
担当課	生涯学習課		

<p>施策の成果と課題</p>
<p>【成果】</p> <p>○異なるテーマを取り上げたことにより、さまざまな人権問題について正しい理解と認識を深めることができた。第1回目は向日市PTA連絡協議会・京都府と共催で開催し、子どものネットトラブルについて取り上げ、PTAから多くの参加があり、アンケートで親子で携帯電話の利用について話し合いたいという声が多く寄せられた。第3回目は、保健福祉関係者研修として留守家庭児童会指導員対象にワークショップ形式の研修を実施し、人権意識の高揚につながる研修であった。</p> <p>○人権研修会の広報活動として、公民館で活動しているサークル団体へのPR活動を行うことで多くの人に興味を持っていただき、研修会への参加につなげることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○より多くの市民に参加してもらえよう、市民に身近なテーマの選択や周知方法等を工夫する必要がある。</p>

<p>外部評価委員評価及び意見等</p>
<p>○研修会への参加者を増やすために、公民館のような人が集まる場所での広報活動は評価できる。また、さらに効果的な広報の仕方も検討し、参加者の増加に努めてほしい。</p>

○多岐にわたる人権内容を限られた研修回数の中でバランス良くテーマを設定し、研修会を開催できていると評価できる。

施策番号	12
施策名	歴史・文化資源の整備と活用

施策の目指す姿 文化財の保護及び積極的な整備や活用に努め、歴史・文化資源を未来に継承する。
施策の方向性 ① 文化財の保護と活用

事業名	文化財の指定等	施策の方向性	①
事業概要実績	○史跡 史跡長岡宮跡 平成31年2月26日 追加指定 史跡乙訓古墳群 五塚原古墳 平成31年2月26日 追加指定 寺戸大塚古墳 同上 ○国登録有形文化財 旧上田家住宅 5棟 平成31年3月26日 登録 ○京都府暫定登録文化財（平成29年度新設） 物忌木簡 長岡京跡出土 1点 平成31年2月 1日 登録 平成30年度末の市内の国・府・市の指定文化財等は96件となった。 （前年度比6件の増）		
担当課	文化財調査事務所		

事業名	有形文化財の保護と活用事業	施策の方向性	①
事業概要実績	○建造物の保護と活用 ・旧上田家住宅活用 平成28年度に史跡長岡宮跡買上事業に係り寄附を受けた農家住宅の活用について検討を行った。 庁内活用プロジェクト会議 3回（うち、1回は先進地視察） 活用実施設計の作成 ・防火・防犯 文化財火災予防運動の期間、広報活動、消防訓練、消防設備の点検立入検査 消防訓練 平成31年1月20日（日） 向日神社 ・維持管理 国及び京都府指定文化財（建造物）修理・防災設備維持管理、災害普及に補助 3件 451,000円		

	・文化活動補助 国登録有形文化財を活用した文化活動に補助 1件 40,000円
担当課	文化財調査事務所

事業名	無形文化財の保護と後継者育成事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	○無形民俗文化財の保護と活用 保存団体の文化活動と後継者育成に補助 2件 70,000円		
担当課	文化財調査事務所		

事業名	史跡の保護と活用事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○史跡公園整備事業 史跡長岡宮跡大極殿西・北面回廊地区の保全整備し、隣接する史跡指定地等との一体化を行い活用の促進を図るため、遺構表示や回廊の建物復元などの史跡整備工事（2か年事業の2年目）を行った。 整備工事面積 1,712.88㎡ 整備完了後活用面積 5,612.88㎡ 竣工式 平成31年3月23日（土） 参加者266人</p> <p>○物集女城跡地籍整備事業 物集女城跡の適正な保護と活用の促進を検討するため、国土調査法に基づき、城跡及び周辺地域の境界確定測量を行った。 ・面積 1.6ha</p> <p>○保存団体への補助 市内に所在する史跡等の保存団体に対し文化活動補助 ・3団体 78,000円</p> <p>○維持管理 史跡指定地等の文化財用地の清掃、除草、樹木の剪定を実施し、史跡環境の保全に努めた。 ・8か所、延51回</p>		
担当課	文化財調査事務所		

事業名	埋蔵文化財の保護と活用事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○開発等に係る埋蔵文化財の審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発、まちづくり条例に係る文化財審査 46件 ・建築確認申請に係る文化財審査 316件 ・埋蔵文化財発掘届出書受理 306件 ・埋蔵文化財発掘通知書受理 26件 <p>○埋蔵文化財発掘調査等事業</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査 12件 1732.00㎡ ・埋蔵文化財詳細分布調査 278件 ・各種埋蔵文化財調査に伴う出土遺物 47箱 <p>○埋蔵文化財出土遺物保存処理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡京跡ほか出土銭貨 50点 <p>○埋蔵文化財出土遺物整理分類事業</p> <p>埋蔵文化財発掘調査等の出土遺物を活用度に応じA～Dの四種類に分類し、そのデータベース作成を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度コンテナ48箱413点（点数は活用できるA、B分類のみ） ・累計コンテナ11,875箱72,136点（点数は活用できるA、B分類のみ）
担当課	文化財調査事務所

事業名	文化財の広報普及事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○史跡長岡宮跡朝堂院公園公開・説明（平成22年6月22日 開所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開園日数 349日 ・来訪者数 8,455人 ・1日平均 24.23人 ・累計来訪者数 65,334人 ・市内小学校の学年、クラス単位の地域学習や教職員研修の場として朝堂院公園を活用した。 <p>○復元体感アプリ「AR長岡宮」の活用（平成26年3月末配信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 1,133人 <li style="padding-left: 20px;">ダウンロード 589人 <li style="padding-left: 20px;">貸出タブレット 544人 ・累計利用者 15,517人 <li style="padding-left: 20px;">ダウンロード 10,943人 <li style="padding-left: 20px;">貸出タブレット 4,574人 <p>○復元体感アプリ「墳タビ！物集女車塚古墳」の活用 （平成29年3月末配信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者（ダウンロード）数 364人 ・累計利用者（ダウンロード）数 4,145人 <p>○模型の展示</p> <p>平成28年度に実施した「長岡宮大極殿等一部復元プラン策定事業」で作成した史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂復元模型を広報普及目的で、本年度も</p>		

引き続き市役所本館エントランスに展示した。

○古代衣装の貸出（長岡京期の衣装 男女各4着）

- ・貸出数 32人

○史跡乙訓古墳群物集女車塚古墳石室一般公開

- ・一般公開 期 間 平成30年5月23日～平成30年5月31日
見学者 427人
- ・臨時公開 期 間 申込日（随時）
見学者 267人（市内小学校及び大学等）
- ・その他、公益財団法人向日市埋蔵文化財センターでは、石室公開に併せ、小学校でふるさと学習を実施した。

○市民考古学講座開催事業

「継体天皇の時代とオトクニ」を主題とし、講座5回と講演会1回を実施した。

- ・参加者 計695人

○埋蔵文化財調査成果展の開催

- ・展示会名 前年度の調査成果と埋文センター設立30周年記念展示を同時開催
期 間 平成30年9月1日～平成30年10月8日
来館者 1,954人
- ・講演会 開催日 平成30年9月29日(土)
演 題 「土器に文字を書くこと」
参加者 53人

○スタンプラリー開催

- ・名 称 史跡めぐり 大発見向日市～桓武天皇の王宮を訪ねて～
- ・内 容 市内5か所の史跡長岡宮跡等をめぐるウォーキングイベント
- ・開催日 平成31年3月23日(土)
- ・参加者 266人
- ・備 考 史跡長岡宮跡大極殿回廊地区竣工事業として実施

○史跡整備竣工記念講演会（文化庁主任調査官）

- ・開催日 平成31年3月23日(土)
- ・演 題 発掘最前線～遺跡を守り伝える
- ・参加者 131人
- ・備 考 史跡長岡宮跡大極殿回廊地区竣工事業として実施

	<p>○スライドでみるおとくへの発掘 平成30年度に乙訓地域で実施した主な埋蔵文化財発掘調査成果をスライドなどで広く市民に報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主 催 乙訓文化財事務連絡協議会 (2市1町教育委員会、向日市・長岡京市埋蔵文化財センター) ・開催日 平成31年3月2日(土) ・場 所 物集女公民館 2階 大会議室 ・参加者 100人 <p>○埋蔵文化財等保管資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出土遺物等資料の貸出 6機関に455点 ・写真資料提供、掲載等承諾 8機関に 39点 ・保管資料の調査・見学対応 3機関に 87点 <p>○史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂復元・体感具の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目 的 史跡長岡宮跡の適切な保全と、広報普及等の利用促進のため、空気で膨らませることができる塩化ビニル製の朝堂院西第四堂を作成し向日市まつり等で公開した。 利用者 699人 <p>○観光振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡長岡宮跡大極殿回廊地区整備事業において、5か国語（日本語、英語、中国語＜繁体・簡体＞、韓国語）の案内板を設置した。 ・向日市の文化遺産を紹介する既存のカラーパンフレットの内、「長岡京跡」を紹介したものを英語化した。今後、随時、5か国語（日本語、英語、中国語＜繁体・簡体＞、韓国語）で発行予定。
担当課	文化財調査事務所

事業名	歴史・文化拠点の整備	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○ソフト面の整備</p> <p>特別展のテーマに合わせ、向日神社の祭礼と向日市内の年中行事を紹介する映像番組を制作した。また、特別展の開催にあわせ、展示図録『向日神社』を作成・発行した。展示期間中だけでなく、向日神社の歴史と文化に関わる基本的事項をコンパクトにまとめたものとして、今後利用できるようにした。</p> <p>さらに、向日神社における『御鎮座千三百年記念 向日神社史』編さんにあたり、向日市史編さん事業およびこれまでの文化資料館における調査成果を提供し、原稿の作成に協力した。その結果、向日神社の歴史を詳しくまとめた『向日神社史』とその簡易版が作成され、当館はじめ図書館・小中学校・各区事務所など公共機関に寄贈され、活用されることになった。</p>		

	<p>○市民活動の推進</p> <p>(1) 文化資料館ボランティアの会の育成 常設展示案内を中心に来館者に応対するガイド班と、収蔵資料の整理、民具の展示などに取り組む資料整理・展示班に分かれて活動するボランティアの会の育成・支援を行った。(登録者 21人)</p> <p>(2) むこうまち歴史サークルの育成 文化資料館を拠点とする自主学習サークルとして、テーマごとに計4班を編成し、各班毎月2回の学習活動を支援した。また、サークル全体での合同研修会を実施し、他団体と講演会を共催した。(登録者 44人)</p>
担当課	文化資料館

施策の成果と課題	
<p>【成果（文化財調査事務所）】</p> <p>○「歴史的風致維持向上計画」に基づき、史跡整備地周辺道路の美装化や、史跡整備地に隣接してデジタルサイネージの設置など他部課の事業と連携し、文化財の活用促進に努めることができた。</p> <p>また、文化財を適切に保護するとともに、復元・体感アプリケーション「AR長岡宮」や「墳タビ！物集女車塚古墳」などの配信、展示会や講座、講演会、史跡めぐりの開催など、地域の特色ある歴史・文化資源の魅力を引き出し高めるため、エアー遊具を用いた歴史解説や説明板やパンフレットの多言語化など多彩な文化財の保護と活用を推進することができた。</p> <p>その結果、市民の文化財保護への理解を深め、史跡への来訪者や講演会等の参加者増などの成果を上げることができ、文化財を核とした地域振興、観光振興などのまちづくりにも寄与することができた。</p>	
<p>【成果（文化資料館）】</p> <p>○向日神社の祭礼と、向日市内の年中行事について、分かりやすくまとめた映像番組を制作することができた。</p> <p>○文化資料館ボランティアの会は、例年どおり、常設展示の個別案内、団体見学対応、夏休み子ども歴史及び連続ワークショップの運営補助、収蔵資料の整理・清掃、民具の展示など、幅広く活動した。</p> <p>また、古代衣裳製作及び乙訓地域地形模型制作のボランティア活動では、市民有志が自主的な運営により創造的活動を、年間を通じて活発に行った。</p>	
<p>【課題（文化財調査事務所）】</p> <p>○史跡乙訓古墳群や史跡長岡宮跡、向日神社など本市の特色ある歴史・文化資源は、市内外への認知度が必ずしも十分ではない。このため、歴史・文化資源を地域の歩みを物語る「宝」として、「後世に残したい」という思いを市民の間で共有されるよう、広くその価値を高めるため、多彩できめ細やかな保護と活用、情報の発信を継続して実施していく必要がある。</p>	

○平成30年9月4日に本市を通過した台風21号により、市域の史跡や社寺など歴史文化遺産も暴風に見舞われ、屋根瓦の落下など建物の一部損壊、倒木や倒木による根返しなどの被害が発生した。幸い保存に大きな影響を及ぼすものではなかったが、復旧のための財政的・人的支援等について検討していく必要がある。

【課題（文化資料館）】

○調査活動については、引き続き市内の潜在的歴史資源の発見・保存・活用を図る必要がある。ソフト面の整備においては、本市の歴史・文化資源について分かりやすく発信するメディアとして映像番組が有効であり、今後も改良したい。古代衣裳復元の取り組みは、研修会を開催するなど、ボランティアが長岡京期の衣裳について理解を深め、復元製作技能を高めるとともに、新規メンバーの拡大に努め、より充実した活動ができるように支援していく必要がある。

○市民活動の推進について、ボランティアの会の新規入会が少ない傾向が続いていたが、最近、数名の新規入会があった。しかし、その一方で退会もあり、なお会員数は少ないため、今後も呼びかけ方の工夫に努める必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○旧上田家住宅について、市民に開放できる貸室を設ける計画は、貸室を利用する市民にとって長岡宮跡の展示等を見てもらう機会にもなり、長岡宮跡の広報普及の拠点として大変評価できる。

○展示図録『向日神社』の作成や映像番組の制作は、小中学校等の公共機関で広く活用することができ、大変価値が高い。